

厚生労働省医政局長 DMAT (Disaster Medical Assistance Team) 隊員

台蔵 剛士 先生

勤務先：石川県立中央病院

出身地：富山県

資格取得年：2014年2月(平成26年2月)

●DMATについて

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており
※、

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して「DMAT (ディーマット)」と呼ばれています。

※平成13年度厚生科学特別研究「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」報告書より

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。阪神淡路大震災を教訓に日本DMATが平成17年4月に発足しました。(厚生労働省DMAT事務局ホームページより抜粋)

薬剤師は、業務調整員としてロジスティック全般についての活動を担います。具体的には、通信や移動等にかかわる資機材の管理、情報の収集・集約と発信、記録などです。

また薬剤師として、医薬品の管理供給や医薬品情報についての専門性を発揮することができます。緊急事態に備え、DMAT出動時に使用する薬剤が、常に持ち出せるように準備や期限等の管理を担当します。

Q1 資格取得のきっかけは何でしたか？

当時、業務調整員として3名が院内に在籍しており、当院の規模からすると人員不足の状況でした。そのような背景の中、厚生労働省から1名分の隊員養成研修参加枠が割り当てられ、上司を通して私に声がかかりました。

Q2 資格取得の最大の難所はどこでしたか？

兵庫県災害医療センターにおいて、4日間の隊員養成研修を受講しました。座学はもちろんですが、大きな倉庫での本番さながらの模擬訓練、ペーパーテストなどとても濃厚な研修でした。

最も印象的だったのは、線路に設置された本物の電車の下をヘルメット着用でほふく前進したこ

とです。地面はゴツゴツの石で中々前に進めず、前方を見ようと顔を起こすとヘルメットが電車にガンガン当たります。1車両分進むだけで疲労困憊でした。

Q3 この資格のやりがいは何ですか？

とても貴重な経験を得られる事です。例えば、政府主催の大規模訓練では他県まで車両で移動し、現地の対策本部に入る事があります。対策本部に、次々と寄せられる医療施設からの被災状況報告や患者の搬送要請、支援物資の要請等について時系列で記録しながら順次対応します。普段の業務では決して経験する事は出来ません。

また、DMAT 隊員への派遣要請は意外と多いです。地震などの大きな災害が発生した場合、多数の傷病者が発生する自動車事故、最近では SARS-CoV-2 による院内感染発生時の病院支援などがあります。

そんな時、薬剤師として、医療従事者の一員として、支援を必要としている方々の力になる事ができます。

Q4 普段のお仕事でこの資格はどのように活用されていますか？

数多くの訓練をともにした、院内の様々な他職種、特に救急科の医師とコミュニケーションをとりやすくなりました。日常業務でわからない事があっても気軽に尋ねる事ができます。逆に、私の PHS にも薬剤に関する問い合わせの電話がかかってきます。

Q5 資格を取得して良かったな、と感じる事柄はありましたか？

そういえば、2015年1月、北陸新幹線が開通する直前に、JR西日本や金沢市消防局等と合同で大規模な訓練が行われ、運航前の新幹線の車内に入らせていただく機会がありましたね。笑い話ですけど、ちょっとした自慢です。余談ですが、最近は大規模クルーズ船の船内で傷病者が発生した想定で訓練が行われることもあります。

Q6 医師や看護師などとのディスカッションで気をつけていることはありますか？

訓練においては、冷静でいられるよう心がけています。様々な患者が一度に押し寄せる場面で、冷静さを欠いてしまうとの的確な判断が難しくなるからです。

Q7 患者さんに接する際に気をつけていることはありますか？

2016年4月、熊本県に医療救護班として5日間派遣され、現地の各避難所を巡回する機会をいただきました。その際、避難者の方々に『頑張りましょう』という安易な声掛けはしないよう

心がけました。みなさん既に大変な状況の中で頑張っておられましたし、避難所生活が長くなり2回目の訪問をした際には、明らかに顔つきが異なり疲労感があらわれていました。『頑張りましょう』という趣旨の声掛けは、負担に感じる避難者の方もいるかもしれないと感じました。

Q 8 その際に印象的だったエピソードはありますか？

100人規模の避難者のいる福祉避難所（高齢者、障害者、乳幼児等の特に配慮が必要な方々が対象となる避難所）を訪問した時の事を思い出します。

医師・看護師が不在の中、ベッドから起き上がる事が困難な高齢者10名程度も含めて、非常に多くの避難者の健康管理をされていた介護職の方が私たちの到着に涙を流して喜んでいただけた事が印象的でした。そこではすぐに巡回診療がはじまり、薬剤師として同行しましたが、『薬剤師さん』と呼び止められる事が多かったです。避難者の方々からは、目薬や湿布、塗り薬等の外用剤についての相談が、ご家族や介護者の方々からは内服薬の相談が多かったです。

Q 9 その他、苦心していること、気を遣うことなどはありますか？

発災まもない時期は、被災地近隣での宿泊や食料の調達はできません。被災者の方々が優先になるからです。隣県に準備していただいた宿泊先から現地まで片道2時間程度かかりました。昼食は宿泊先近郊で購入し、現地での食事は車の中で済ませ、ゴミは持ち帰りです。発災間もない時期は、対策本部の仮眠室や移動の車の中で交代して休むことになりますので、体力が必要です。

Q 10 この資格を目指している後進へ何かアドバイスを！

隊員養成研修の機会は限られおり希望すれば受講できるわけではありませんので、普段から隊員になりたいという意思表示を積極的にしておいた方が良いと思います。受講の機会さえあれば隊員になる事ができます。

Q 11 この資格の取得要件をお教えてください。

- ・石川県では10施設が該当する、『災害拠点病院』に勤務していること。
- ・指定された隊員養成研修を受講し、研修後の試験に合格すること。